

日本学生 B to B 新聞広告大賞

第10回

講評

審査委員長 川野 康之氏（クリエイティブディレクター）



本賞は今年でいよいよ10回目を迎える。応募作品数は年を追うごとに多くなり、今年は昨年よりもさらに増えて1588本。応募の広がりも作品も、この賞に取り組み制作者の意欲がすくく伝わってきて、それが何よりもうれしかった。

広告はコミュニケーション。広告を通して送り手と受け手が生き生きと会話することである。そのために広告表現は生き生きと語りかけなければならない。アイデアはいつもアップデートされている必要がある。学生のみなさんに期待するのは新しい切り口の発見である。

去年の金賞は生成AIを使った作品に贈られた。時代の変化を機敏にとらえて強い企画に結びつけたところが新鮮だった。審査会で熱い議論を呼んだことを覚えている。今年はどんな作品が見つかるだろうか。この一年、AIはさらに進化した。世の中をすごい勢いで変えつつある。今という時代を動かしているビジネスを若い感性でどうとらえて、どうコミュニケーションするのかが、若者ならではの突破口に期待したいと思う。

最先端のAIとは真逆のアプリナだが、負けない強さを持つ。スローガン風のコピーとのマッチングがナイス。くすつと笑わせて、そして考える。

「ノーラリス ノーライフ」
（創造社デザイン専門学校）

「味方が増えるデスクを手に入れた」
（京都芸術デザイン専門学校）

「アルミ」
（大阪経済大学）

「アルミニウム総合メーカー」
アルミのリサイクルは原料から製造する際と比較して二酸化炭素（CO₂）排出量を3%に抑えられ、さらに何度でもリサイクル可能な素材であることを訴求して、同社の認知度を高める企業広告案を募集した。作品は日本の大学・大学院、専門学校などに在籍する学生を対象に、2025年2月28日の締め切りで募集した。3月25日に審査会を行い、各賞合計13作品を選定した。審査委員は川野康之氏（審査委員長）（クリエイティブディレクター）、太田康生氏（日本BtoB広告協会副会長）、細井聖氏（フリーライター）、大谷清司氏（日本BtoB広告協会常任理事）、石黒淳子氏（クリエイティブディレクター）、小原敏永氏（日本BtoB広告協会副会長）。

金・銀・銅賞、審査委員会特別賞、協賛企業賞、奨励賞の受賞者には表彰盾を贈り、副賞として金賞に30万円、銀賞に10万円、銅賞に5万円が贈られる。

（5月6日付で審査委員会特別賞1作品、協賛企業賞6作品、奨励賞3作品を紹介します）

「味方が増えるデスクを手に入れた」
（京都芸術デザイン専門学校）

「アルミ」
（大阪経済大学）

「アルミニウム総合メーカー」
アルミのリサイクルは原料から製造する際と比較して二酸化炭素（CO₂）排出量を3%に抑えられ、さらに何度でもリサイクル可能な素材であることを訴求して、同社の認知度を高める企業広告案を募集した。作品は日本の大学・大学院、専門学校などに在籍する学生を対象に、2025年2月28日の締め切りで募集した。3月25日に審査会を行い、各賞合計13作品を選定した。審査委員は川野康之氏（審査委員長）（クリエイティブディレクター）、太田康生氏（日本BtoB広告協会副会長）、細井聖氏（フリーライター）、大谷清司氏（日本BtoB広告協会常任理事）、石黒淳子氏（クリエイティブディレクター）、小原敏永氏（日本BtoB広告協会副会長）。

金・銀・銅賞、審査委員会特別賞、協賛企業賞、奨励賞の受賞者には表彰盾を贈り、副賞として金賞に30万円、銀賞に10万円、銅賞に5万円が贈られる。

（5月6日付で審査委員会特別賞1作品、協賛企業賞6作品、奨励賞3作品を紹介します）

第10回 日本学生BtoB新聞広告大賞 受賞者一覧

金賞	作品名：ノーラリス ノーライフ 課題企業：サタケ 穂香（創造社デザイン専門学校） 制作者：畑中 穂香（創造社デザイン専門学校）
銀賞	作品名：味方が増えるデスクを手に入れた 課題企業：オカムラ 美聖（京都芸術デザイン専門学校） 制作者：久保 美聖（京都芸術デザイン専門学校）
銅賞	作品名：アルミ UACJ 課題企業：UACJ 渡邊 要（大阪経済大学） 制作者：渡邊 要（大阪経済大学）
審査委員会特別賞	作品名：「絶対に」離れない 課題企業：オカムラ 穂香（創造社デザイン専門学校） 制作者：畑中 穂香（創造社デザイン専門学校）
協賛企業賞	作品名：大人の距離感より少し近くに 課題企業：オカムラ 穂香（創造社デザイン専門学校） 制作者：畑中 穂香（創造社デザイン専門学校）
協賛企業賞	作品名：転生したらロケットだった。 課題企業：UACJ 美聖（秋田公立美術大学） 制作者：藤田 あいみ（秋田公立美術大学）
協賛企業賞	作品名：未来を動かす。キミと共に 課題企業：コマツ 浩翔（大阪経済大学） 制作者：唐 浩翔（大阪経済大学）
協賛企業賞	作品名：「選別する」会社です。 課題企業：サタケ 穂香（京都芸術デザイン専門学校） 制作者：赤尾 拓弥（京都芸術デザイン専門学校）
協賛企業賞	作品名：一滴も無駄にはしない 課題企業：スリーボンド 穂香（秋田公立美術大学） 制作者：佐々木 穂香（秋田公立美術大学）
協賛企業賞	作品名：アルミニウムの訴え 課題企業：UACJ 穂香（広島コンピュータ専門学校） 制作者：三宅 亜弥（広島コンピュータ専門学校）
協賛企業賞	作品名：銀河鉄道の夜 課題企業：サタケ 穂香（創造社デザイン専門学校） 制作者：畑中 穂香（創造社デザイン専門学校）
協賛企業賞	作品名：これからの地球を支える。コマツ 課題企業：コマツ 穂香（京都芸術デザイン専門学校） 制作者：浦田 晴斗（京都芸術デザイン専門学校）

（敬称略）

「味方が増えるデスクを手に入れた」
（京都芸術デザイン専門学校）

「アルミ」
（大阪経済大学）

「アルミニウム総合メーカー」
アルミのリサイクルは原料から製造する際と比較して二酸化炭素（CO₂）排出量を3%に抑えられ、さらに何度でもリサイクル可能な素材であることを訴求して、同社の認知度を高める企業広告案を募集した。作品は日本の大学・大学院、専門学校などに在籍する学生を対象に、2025年2月28日の締め切りで募集した。3月25日に審査会を行い、各賞合計13作品を選定した。審査委員は川野康之氏（審査委員長）（クリエイティブディレクター）、太田康生氏（日本BtoB広告協会副会長）、細井聖氏（フリーライター）、大谷清司氏（日本BtoB広告協会常任理事）、石黒淳子氏（クリエイティブディレクター）、小原敏永氏（日本BtoB広告協会副会長）。

金・銀・銅賞、審査委員会特別賞、協賛企業賞、奨励賞の受賞者には表彰盾を贈り、副賞として金賞に30万円、銀賞に10万円、銅賞に5万円が贈られる。

（5月6日付で審査委員会特別賞1作品、協賛企業賞6作品、奨励賞3作品を紹介します）

「第10回日本学生BtoB新聞広告大賞」の金賞に、創造社デザイン専門学校の畑中穂香さんの作品「ノーラリス ノーライフ」（13面に掲載）が輝いた。サタケの課題をもとに制作された作品は、中央に大きく配置された画像が十分なインパクトで読者に訴えかけるデザイン性により高得点を得た。コメの高騰が続くという世相の背景もあり、弁当のふたを開けた時のがっかり感と穀物の重要性が一瞬で伝わることも、コピーもコンパクトにまとめられており、同社のブランディングに寄与する広告作品として評価された。銀賞には京都芸術デザイン専門学校の久保美聖さんの作品「味方が増えるデスクを手に入れた」（課題…オカムラ）（下段左に掲載）、銅賞には大阪経済大学の渡邊要さんの作品「アルミ」（課題…UACJ）（同右に掲載）が選ばれた。第10回の協賛企業はオカムラ、コマツ、サタケ、スリーボンド、三菱電機、UACJ。これら協賛企業賞に6作品、審査委員会特別賞に1作品、奨励賞に3作品が選ばれた。

ビジネス経験者を対象に、自由なアイデアやデザインに期待をかけた。サタケはコメを中心とした穀物加工のリーディングカンパニー。世界150カ国以上に製品を供給しているが、多くのBtoB製品で一般の目に触れる機会が少ない。そこで生活にも深く関わっていることを幅広く知ってもらえる企業ブランド広告を募集した。スリーボンドはさまざまな工業製品に使用されるシール剤・接着剤によって、社会生活やインフラを支えている。「縁の下の力持ち」として産業界に貢献する同社のブランド力を高める広告を課題にした。三菱電機の課題は、脱炭素社会実現のための力となる「パワーデバイス」。日の丸半導体の復権にかける同社の技術力をおかりやすく表現する作品を求めた。UACJは飲料品からロケットまで、さまざまな分野にアルミ材を提供

金賞に畑中穂香さん（創造社デザイン専門学校）

「ノーラリス ノーライフ」
（創造社デザイン専門学校）

「味方が増えるデスクを手に入れた」
（京都芸術デザイン専門学校）

「アルミ」
（大阪経済大学）

「アルミニウム総合メーカー」
アルミのリサイクルは原料から製造する際と比較して二酸化炭素（CO₂）排出量を3%に抑えられ、さらに何度でもリサイクル可能な素材であることを訴求して、同社の認知度を高める企業広告案を募集した。作品は日本の大学・大学院、専門学校などに在籍する学生を対象に、2025年2月28日の締め切りで募集した。3月25日に審査会を行い、各賞合計13作品を選定した。審査委員は川野康之氏（審査委員長）（クリエイティブディレクター）、太田康生氏（日本BtoB広告協会副会長）、細井聖氏（フリーライター）、大谷清司氏（日本BtoB広告協会常任理事）、石黒淳子氏（クリエイティブディレクター）、小原敏永氏（日本BtoB広告協会副会長）。

金・銀・銅賞、審査委員会特別賞、協賛企業賞、奨励賞の受賞者には表彰盾を贈り、副賞として金賞に30万円、銀賞に10万円、銅賞に5万円が贈られる。

（5月6日付で審査委員会特別賞1作品、協賛企業賞6作品、奨励賞3作品を紹介します）

金賞 畑中 穂香さん

「ノーラリス ノーライフ」
（創造社デザイン専門学校）

銀賞 久保 美聖さん

「味方が増えるデスクを手に入れた」
（京都芸術デザイン専門学校）

銅賞 渡邊 要さん

「アルミ」
（大阪経済大学）

受賞作品

味方が増えるデスク を手に入れた

WORK ISLE

WORK ISLE（ワークアイ）は人と人の距離や位置の関係性に着目し、快適な個人作業の場と、偶発的なコミュニケーションを生む場の両立を目指しました。個人作業を行いながら日常的に、ゆるやかに、人と人のつながりをはくくみず。

OKAMURA

「アルミ」
良いところがありすぎることに。
形容しがたい感動を覚えるさま
を意味する若者言葉。
「例の彼、ヤバみ超えてー。」

UACJ

Aluminum lightens the world
アルミでかええる、軽やかな世界

アルミニウムは、ことばと同じくらい身近なものとして、我々の暮らしを支えています。

UACJは、アルミニウム総合メーカーです。
コーポレートスローガンに「アルミでかええる軽やかな世界」を掲げ、幅広い分野にアルミ素材を供給し、人びとの暮らしと産業を支えています。
アルミニウムのリサイクル時のCO₂排出量は原料から作る時のわずか3%。
何度もリサイクルできるアルミは環境負荷低減にも貢献しています。



ノースライフ ノースライフ



想像してみてください、お米の無い日常を。

味気がないと思いませんか？

お米などの穀物は、大切なエネルギーで、日々の活力の源です。

サタケは、みなさまの日々の活力を生むお手伝いをしています。

穀物加工の分野の研究と技術で、これからも世界中の食文化に貢献してまいります。

SATAKE